

2019年
9・10月号

TOKYOタイムス

トキオ

NO. 152
岩本工業 (株)

ホームページ <http://www.iwmt-kg.co.jp/> / Eメール: iwamoto@iwmt-kg.co.jp

「グローバルizmと大和心」 令和元年 9月吉日 岩本 博之

世界基準と日本の常識が相反する事象が得てして自虐的な方向に流されているような感じがします。日本民族の個性に自信を持って誇りに思っている！モノ造りの世界に携わっている一員として声を大にして若者を励ましたい。世界基準の表現では『日本の生産性が低い』先進国の中では20位前後に甘んじていますが、工作機械を開発・生産している現場を熟知している我々はプライドを持って汗を流しています。マザーマシンと表現されているように産業(農林漁業・Etc)機械を作りこんでいる生みの母です。世界の趨勢は“マネー！マネー！＝起業！起業！”が跋扈して、地道な農林水産や伝統工芸&物造りを軽視しがちな傾向となっています。短兵急に結果を早く求め過ぎなのではないでしょうか？

『生産性』云々はグローバル基準では表せない、相反する“O・MO・TE・NA・SI！”に象徴されていると思います。日本独特の“上げ膳据え膳”の旅館やホテルのサービス、痒い所に手が届く手厚さは、効率(生産性)の尺度では測れないものです。工芸品を例にとれば輪島塗は124工程にも及ぶ手作業で作られ、その工程は大きく木地、きゆう漆、加飾に分かれます。さらにその中で、椀木地、曲物木地、指物木地、朴木地、下地、上塗、呂色、蒔絵、沈金等に細分されています。木地となる原木は、大まかな型取りをした後に、燻煙乾燥させ、自然乾燥で1年ほど寝かせます。…別記…杉の板でできた収納庫塗師風呂に入れて乾かし、水分を取り込みながら固まってくるので、湿度と温度が重要になってきます。その後何度も磨きを加え輪島塗の完成ですが、更に炭で研ぎ、生漆を何度も摺りこんでいくことで艶を出していく、呂色。表面に筆で漆を塗りながら模様を描き、その漆が乾かぬうちに金粉や銀粉を蒔き、漆の模様の部分にのみ金や銀がつく蒔絵。漆器の表面をノミで削りながら模様を作り、その溝に漆を入れ、そこに金や銀を接着させる、沈金。その工程は多くの職人さんの手を得て完成します。美食家はワインの管理にはワインセラーなどを利用し、それこそ宝物のヴァインテージ扱いで嗜みます。乾燥している国では漆器の管理が難しいですが、ワインのような湿度・温度調整ボックスで保管して嗜んでもらうのもZなのではないでしょうか。コウゾを原料とする和紙作り業界も激減し、加賀友禅や九谷焼 Etc しかり。素晴らしい品質・製品にも拘わらず生産額でいえば1/5ぐらいに縮小しています。100円ショップが普及しているのは“使い捨て”の消費感覚を満足させているから。しかし輪島塗や九谷焼&加賀友禅などは子や孫に引き継がれ、和紙に至っては500年以上風化する事無く歴史を紡いでいます。しかしながら、これらの従事者は年収で表現すれば大企業に所属する人たちに比べると半分以下ぐらいかも知れませんが、地域に密着したファミリー構成や生活は所得の多寡では表せられない豊かさが有ると思います。グローバルizm・世界基準など何するものぞ、と気概を持ち“風雅”を感じ取れる大和心を再認識しましょう。シャンパン・ルイヴィトン・アップル・コカコーラ Etc ブランドの構築(アピール)力では後塵を排していますが、地道に作り上げる本物はいつれ評価される時代が必ずや訪れます。

『俳句』がブームとなっていますが、これこそ“大和心”を呼び起こすツールです。虫の音や雨音&ホテル観賞&蝉時雨・自然をこよなく愛し、これらの変化を感じ取る愛でる心の豊かさが日本民族の優しさです。

…(別記部分)…しっかりと木の中の水分をとばすことで、木の変形を防ぎ完成後もひび割れが起きず、耐久性があがります。その乾燥させた木を最終的な形にしておくために、轆轤(ろくろ)の回転を利用し、刃物をあて内側と外側を削っていく、椀木地は光にあてると透けるぐらいの薄さになるまで削ります。木を薄く挽き、

形に合わせ丸めてつなげる、曲物でこの技法はお盆や丸みを帯びたお弁当箱の形成に適しています。指物技法は、板と板をコクソ漆(漆と櫨の木粉)で接着し組み合わせて作る、家具、重箱、膳などに。原木からノミやカンナを用いてくりぬいていくことで形を作る、朴木地(ほうきじ)技法。輪島には木地作りを専門とする木地師が独自の工房を持っています。次の工程、木地固めは生漆をしみ込ませ、接合部分や欠けやすい部分にコクソ漆を塗り補強することで、強度を上げます。布着せは木地全体に、また、生漆をしみ込ませることで、木の吸水性を抑える効果もあります。下地塗りでも一番の見せ場であり、ふちなどの壊れやすい部分に生漆と米のりを混ぜたものを接着剤とし、布を貼付け補強します。布の切れ目にある段差を平にするために、乾燥後に境目を削り、コクソ漆を塗り、さらに平にする惣身地付けが行われます。ここで使う地の粉は輪島塗にしか用いられないもので、輪島市の小峰山から取られる珪藻土(けいそうど)を蒸し焼きにし、粉にしたものです。地の粉を混ぜることで、より頑丈になり輝きも増します。この惣身地付けの後に、全体を砥石で磨き上げ、漆の乗りを良くする惣身みがきが行われます。次工程は地付け(3回の塗り&研ぎから構成)、二辺地付け三辺地付けと続き下地より純度の高い中塗り漆を下地層にしみ込ませ、また上塗りの前の土台を作るのがこの作業です。中塗り漆を塗った後は、…

オール栗津QC大会

7月6日
第4係 稲垣

7月6日、コマツ栗津工場で行なわれた「2019年オール栗津QC大会」に岩本工業代表として発表をしてきました。テーマは「レイアウト変更による動線改善と作業効率向上」で、主な内容は4係のレイアウト変更で生まれた効果についてです。元々生産革新で取り上げた改善事例をQCストーリーに沿って説明しなくてはならない為、流れをイチから作り上げる作業は本当に大変でした。何度も打ち合わせや変更を行い、最終的にはとても自然な流れになったと思います。個人的には、今回取り上げたレイアウト変更に全く関わっていなかったのに、内容や流れを頭に入れるのにとっても苦労しました。出来上がってきた資料の分からない所を理解しながら何度も読んで流れを把握し、当日は内容について幾つか質問がありましたが、なんとか求められた回答が出来たかなと思っています。また、打ち合わせの段階で「誰が見ても分かるような表現にするように」と指摘を受け、迫力のある資料作りや見せ方を教えて頂きました。発表者として分かりやすい説明や言い回しを工夫し考えられたことで、今後人に何かを伝えるときには相手が理解しやすい伝え方を意識しようと思えるようになりました。



「銀賞」を頂きました

本番では少しトラブルはありましたが、練習してきたことを全て出し切れた発表ができたと思います。また、社内外問わず本当にたくさんの方々から応援に来て下さりとても心強かったです。苦労もありましたが、学ぶことや得るものも多い2ヶ月間でした。素晴らしい機会を頂きありがとうございました。

9月

10月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

職場体験インタビュー



ポリテクカレッジ石川
生産技術課 三須 くん
(2020 年度入社予定)

三須君が岩本工業に入りたいと思った動機は？

1 年前の工場見学の際に御社を知りインターネットで“楽～ラント”の動画を見て、当たり前に行っていた従来の切削油の処理を作業効率改善の為に開発していた点について魅力を感じました。

実際に現場作業をした感想は？

ずっと立ち仕事なのでつらい面はあったけど、入社して作業していく中で習った技術を生かし、磨いていきたいと思っています。

インターナップ®ではどんな作業をしましたか？

組み立てと加工の仕事に携わりました。組み立てではヤスリ掛けをした際に、先輩に教えてもらい徐々に綺麗に削ることが出来るようになりました。加工ではNC旋盤で品物を削った際もアドバイスをもらい、精度を出すことが出来ました。

今頑張っていることは？

短大の卒業制作で新割り機の制作に携わっていて 4 人グループで設計、加工、組み立てを頑張っています。先生が行きつけの床屋さんが薪割りするのが大変と聞いて、お客さんのニーズに対応したものを制作する点で魅力を感じ、薪割り機にしようと思いました。

入社までの半年間でしたいことは？

仕事を始めたらなかなか遊ぶことが出来ないので学生の内に遊び、そしてしっかり気持ちの切り替えをして、入社に備えたいと思います！

安全道場を体験して



6 月 25 日
第 1 係 松本

先日、コマツ栗津工場で行なわれた安全道場に参加させて頂きました。工場に到着してすぐの場所に研修センターがあり、コマツ様の安全に対する意識の高さを感じました。まず最初に自身の服装チェックを行い、工場に入る心構えを整えるように指導員の方に教わりました。入口には人が飛び出してくる装置が仕掛けられていて、一時停止の大切さを身をもって体験しました。その他にも漏電火災やエアースーツでのエアーツールの危険を体験出来る装置、足場の不安定な状態での歩行、機械のちょこ停時の危険な状態など様々な体験をさせてもらいました。

道場の最後にKYのトレーニングを行い自分達の危険予知のレベルを確認し、日々のKYに生かす様に指導を受けました。日頃から安全に対して自覚を持ち、無事故無災害で作業を行なう事が大切であることを今回の講習で学ばせて頂きました。

9月

★:HAPPY BIRTHDAY!★:

10月

9 日 川端 さん 9 日 的場 さん
11 日 若林 さん 26 日 梅崎 さん
27 日 荒野 さん 29 日 越本 さん

2 日 浅野 さん 6 日 加賀谷さん
6 日 九尾 さん 14 日 俵 さん
17 日 丁 さん 19 日 西村 さん
20 日 津雲 さん

ビアパーティ



7 月 19 日
ANA クラウンプラザ ビアテラス

今年も協力企業様はじめ日頃お世話になっている関係者様にお越しいただき、過去最大の総勢 183 名でビアパーティを開催！数日前には雨の予報でドキドキしましたが、当日は調度良い気候で貸切会場は大変な盛り上がり♪

足を運んで頂いた皆様方本当にありがとうございました。



みんなで かんぱ〜い 🍻



いっぱい食べて飲んで ♪最高♪



ぴちぴちギャルに囲まれて
楽しそうな荒野係長



“飲んで♪飲んで♪” 攻撃で
ロックオンする松本さん



ツェーゲン田代さんによる
チケット争奪じゃんけんポン 🍻



今年の司会は若林係長
明るく通る声はさすがです！！

さくらノート 掲載のお知らせ



さくらノート北陸 のホームページに岩本工業が掲載されました。荒木さんのインタビュー記事もありますので、是非ご覧下さい！秋には冊子になり、県内中学・高校などに 43,000 冊配られる予定です。沢山の生徒さんに目に留めてもらえたら嬉しいですね。



さくらノート 石川 検索 🔍

編集後記 : 8/22 の高校野球甲子園決勝は私の母校「星稜」が惜しくも負け準優勝でした。今回の大会ではエースの連投が話題を呼びました。特に岩手県予選決勝の大船渡 対 花巻東戦では大船渡エースの佐々木君を休養させて敗退したことが大きなニュースとなりました。私たち社会人も昨今働き方改革で残業量に規制が入ったりしています。個人の体力差などありますが 40 時間？俺はまだまだやれるぜ！という方もいるかもいらっしゃるかもしれませんが、会長がよく言う脳から汗を流して改善・工夫を織り込んでいけるようにしましょう。

M. M